

知っていますか

障がいのこと

岡福祉課 TEL21-2299 FAX21-1315

「障がい」は誰もがなる可能性があり、症状もさまざまです。外見からは障がいがあることが分かりにくく、周囲から理解されず苦しんでいる人もいます。

障がいのことを知り「自分だったらどう接するか」を考えてみましょう。

視覚障がい



目が全く見えない、または見えにくい障がいです。視覚から情報を得にくいため、音声や手で触って情報を入手しています。

できるだけ前方から声をかけるようにしましょう。

聴覚障がい



耳が全く聞こえない、または聞こえにくい障がいです。外見からは分かりにくいいため「声をかけたのに無視された」と誤解されることがあります。

手話や筆談などでコミュニケーションが取れます。

肢体不自由

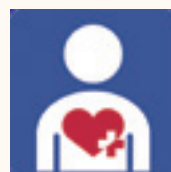
病気やけがなどで手や足など体の一部、または全身のまひや欠損などがある障がいです。障がいの部位や程度によって個人差が大きく、移動や読み書き、会話などに時間がかかることがあります。

本人のペースに合わせて見守り、支援を必要とする部分を手伝うようにしましょう。

内部障がい

心臓や腎臓、ぼうこう・直腸、呼吸器など体の内部機能の障がいです。外見からは分かりにくいいため、体調が悪くても周りから理解されないことがあります。疲れやすい人や、長時間立つことや歩くことが困難な人もいます。

椅子を用意するなどの配慮をしましょう。



内部障がいや内臓疾患のある人を表す、ハートプラスマーク

知的障がい

発達期に脳に障がいが生じ、読む、書く、計算する、物事を理解・判断することに困難があります。外見からは分かりにくいため、周りから理解されないことが多くあります。

話の内容を理解し、自分の考えや気持ちを表現することが難しいため、

できるだけ短い言葉でゆっくり、繰り返し説明するようにしましょう。

精神障がい 発達障がい

心の病気や脳機能の障がいなどによって、日常生活や社会生活のしづらさを抱えています。外見からは分かりにくいので、理解や配慮がされないことがあります。

コミュニケーションを苦手とする場合もあるので、その人に合った対応が必要です。

高次脳機能障がい

病気やけがで脳の一部が損傷し、注意力や記憶力、意欲の低下などさまざまな症状が現れる障がいです。外見からは分かりにくいため、理解されないことが多くあります。病気や事故から社会復帰を果たした後「以前と何かが違う」と周囲や本人が感じていても、適切な支援が受けられないと、誤解やトラブルにつながる場合があります。

大事なことはゆっくり、分かりやすく、具体的に伝えるようにしましょう。

援助を必要とする人のための

ヘルプマーク



外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている人がいます。

ヘルプマークを身に付けている人を見かけたときは、思いやりのある行動をお願いします。

「互いに理解し支え合う」共生社会に向けて

障がいの種類や程度はさまざまで、同じ障がいでも状況は一律ではありません。高次脳機能障がいなど、見た目では気付にくい障がいもあり、体の辛さや障がいによる困難さを理解されずに苦しんでいる人もいます。「障がい者」とひとくくりにせず、まずはそれぞれの特性を正しく理解しましょう。また、周囲の理解があれば、日常生活や仕事、趣味やスポーツなどを楽しむことができます。障がいがあるからできない、と決めつけず、互いに理解し支

え合うことが大切です。

障がいのある人に対する誤解や偏見、無理解をなくし、理解を深めることが、共生社会への第一歩です。



ヤングケアラーって？

子育て支援課
TEL47-7786 FAX20-4201

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。年齢に見合わない責任が重いケアを引き受けることで、自分の時間が取れず日常生活などに支障が出ることもあります。

ヤングケアラーを正しく知り、身近に困っているお子さんがいたら、まずはご連絡ください。

※年齢や成熟度に合った家族のケア、お手伝いは子どもの思いやりや責任感を育みます。家族の助け合いを妨げるものではありません。

ヤングケアラーとは、例えばこんな子どもたちです

厚生労働省ホームページより



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気遣いをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



労働をして、障がいや病気のある家族の家計を支えている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

ヤングケアラーが直面する問題

学業への影響

遅刻・早退・欠席が増える、勉強の時間が取れないなど



就職への影響

自分にできると思う仕事の範囲を狭めて考えてしまう、自分のやってきたことをアピールできないなど

友人関係への影響

友人などとコミュニケーションをとる時間が少ないなど

身の回りのヤングケアラーに気付いたら連絡を！

子どもたちの健やかな成長のため、家庭内のさまざまな問題について相談に応じ、必要な支援につなげます。



0257-47-7786

子育て支援課（ヤングケアラー相談窓口）

その他の相談窓口

（毎日 24 時間対応）

児童相談所相談専用ダイヤル	TEL0120-189-783
24 時間子供 SOS ダイヤル	TEL0120-0-78310 TEL025-285-1212

市長への手紙

市民の皆さまには、日ごろから市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

柏崎市は“市民の皆さまの声が生かされる市政”を進めています。安心・元気・希望に満ちた柏崎市にするため、市政に対するご提案・ご意見をお寄せください。

皆さまの声を市政に生かし、市民との協働のまちづくりを進めてまいります。

柏崎市長

お寄せいただいたご提案・ご意見には、責任を持って回答いたしますので、必ず住所・氏名・電話番号をお書きください。

また、頂いたお手紙・お答えした内容は、個人情報を除いて広報かしわざき・市ホームページなどで公表する場合があります。

▶ 問い合わせ

総務課

TEL 21-2333 FAX 24-7714

✉ kocho@city.kashiwazaki.lg.jp



柏崎

(こまち)

9 4 5 - 8 7 9 0

日石町2番1号

柏崎市長
ゆき

(こまち)



料金受取人私郵便



差出有効期間
2023年3月31
日まで有効
〔切手を貼らずに
お出しください〕



(やまおり)

市政に対する皆さまのご提案・ご意見をお寄せください。

線に沿って切り取り、のり付けしてから投函してください。
ファクスをお持ちの方は、この面だけ送信していただいても構いません。

市長への手紙

年 月 日

住 所 〒

柏崎市

氏 名

性 別

男 ☐ 女 ☐

年 齢

代

電話番号

※市長の署名付き回答希望 ☐ 担当課の回答希望 ☐ 回答はいらない ☐

いずれかの ☐ に必ず ✓ (チェック) をつけてください。✓ (チェック) のない手紙には
回答いたしませんので、ご了承ください。

タイトル:

(のりしろ)

(のりしろ)

(のりしろ)

CASE No.37



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学

医療や福祉分野に应用できるロボットの研究で、社会をチェンジ!

KEY PERSON

新潟工科大学 メカトロニクス研究室 准教授 **李 虎奎さん**

新潟工科大学の李虎奎准教授は、機械工学や、電子工学の技術を融合したメカトロニクス技術を用いて、医療や福祉分野に应用できるロボット研究を進めています。「日本に来てかなり経ちますが、日本語がなかなかうまくありません(笑)」と謙遜しながらも、終始笑顔でインタビューに答えてくれました。

医療に应用できるロボットの研究、そのきっかけは母のリハビリ

李准教授は、30年程前に韓国から自動車に関する研究のために、日本に留学しました。

「来日して間もなく、母が脳卒中で倒れました。回復に向けてリハビリに励んでいる母の姿を目にした時、自分の研究を医療分野に還元できたら…、そう考え、ロボット研究の道に進みました」

現在は寝たきりの人が床ずれを起こ

さないようにするロボットや、AI技術を用いたセラピーロボット、高齢者や歩行が困難な人のための電動アシスト自転車など、実用化に向け研究を進めています。特に電動アシスト自転車は、柏崎市内で臨床実験を行いました。

「実験の際には、公道を使用するため、警察署の協力はもちろん、多くの事業所から協力してもらいました。私たちが研究する分野は、決して一人では成功しません。ロボット技術者やセラピスト、医師と連携して実用化に近づけることができました」と李准教授は振り返ります。

今の社会に必要な研究だからこそ成果は自由にブラッシュアップ

李准教授の研究への熱意、そして『社会への還元』という思いは、さらに高まっています。

「私が進めている研究は『種から芽を出す』ようなもので、すぐにお金にはなりにくい研究です。しかし、今の社会には必要な分野だと確信しています。私の研究成果が誰でも自由に使えて、さらにブラッシュアップして欲しいとの思いから、特許は取っていません」

李准教授らが進める研究が幅広く生かされ、誰もが生活しやすい社会、そし

「医療や福祉に役立つロボットは、患者さんはもちろん、医療従事者の方にとっても必要です!」そう力強く語る李准教授



て、より快適な未来が訪れることを期待しています。

市民のみなさんにひとこと

5年前に柏崎へ来たときに、水の美味しさに驚いたことを覚えています。自然豊かな環境の中で、社会に還元できる研究をさらに進めたいと思います。



専攻する学生と、より繊細な技術の研究



新潟産業大学からお知らせ 「給付型奨学金」採用枠を大幅に拡大しました



大学HP

物価上昇が家計を圧迫している経済状況に鑑み、本学では今年度から新設された「給付型奨学金」(返還義務なし・原則4年間継続適用)の採用枠を大幅に拡大することといたしました。

- ◆ 給付枠: 令和5年度4月入学者**80名**(選考・審査のうえ決定)
- ◆ 対象入試: **総合型選抜のすべての入試区分、推薦型選抜のすべての入試区分**
- ◆ 申請条件: 世帯収入または、保有する資格検定の条件がございました。
- ◆ 給付額: 年額300,000円(※国の修学支援新制度及び本学の他の学費軽減制度と併用はできません)

申請の条件や方法等、詳細については入試・広報課(0120-787-124)へお問い合わせ、または本学HPからご確認ください。

※この紙面はスタッフゼプト「柏崎サイズ」編集部が制作しています。



新潟工科大学からお知らせ 工科大祭へのご来場 ありがとうございました



大学HP

10月8日(土)に第25回工科大祭を開催し、約1,500人にご来場いただきました。芸能人によるお笑いライブや学生たちによる模擬店、小学生向けの科学体験イベントなど多数の企画が実施され、大いに盛り上がりしました。3年ぶりに来場型での開催となり、実行委員の学生たちにとっては初めての工科大祭となりましたが、企画運営、事前準備など手探りで進め、無事に終了することができました。開催にあたり、ご協力いただきました皆様、ご来場いただいた市民の皆様へ厚く御礼申し上げます。

